

秘

総務省届出済

東京都指定統計調査第4号



この調査票に記入された事項は、統計以外の目的に使用したり、他に漏らしたりすることは絶対にありませんので、ありのままを記入してください。

回収予定日

月

日

平成24年度
東京都福祉保健基礎調査 調査票②
(平成24年10月17日現在)

調査御協力のお願いと記入上の注意

この調査は、現在小学生以下のお子さんを養育している方又は20歳未満のお子さんを養育しているひとり親の方に子育てに関する意識についてお尋ねするものです。

記入に当たっては、回答を選択肢の中から選び、選んだ番号を○で囲んでください。「その他」を選んだ場合は、その具体的内容を（ ）内に記入してください。

お忙しいところ恐縮ですが、御協力をよろしくお願い申し上げます。

回答 状況	1 回答	調査不能			
		2	3	4	5

調査番号				家族の 状況
地区番号		世帯番号		

調査 地区	区市町村
----------	------

調査員 氏名	
-----------	--

あなたの性別及び年齢を教えてください。

1 男	2 女
-----	-----

歳

(平成 24 年 10 月 17 日現在)

就労状況

《全員にお聞きします。》

【問 1】 あなたの現在の就労状況について、当てはまるものに 1つ○をしてください。

- 1 働いている
- 2 産休・育休中である
- 3 病気等で休んでいる
- 4 以前は働いていた
- 5 今まで働いたことはない → 《問 5 へ》

《問 1 で 1~4 を選んだ方にお聞きします。》

→ 【問 2】 あなたは、今までに子育てを理由として、転職をしたことがありますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

→ 【問 3】 あなたは、子育てを理由に、勤務時間の調整（短時間勤務、フレックス、勤務時間の繰上げ、繰下げ等）が必要だった経験がありますか。または、職場復帰後、調整が必要になる予定ですか。

- 1 はい
- 2 いいえ

《問 3 で 1 を選んだ方にお聞きします。》

→ 【問 3-1】 勤務時間は十分に調整できた（できる）と思いますか。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 どちらとも言えない

《問 1(1 ページ)で 4(以前は働いていた)、5(今まで働いたことはない)を選んだ方にお聞きします。》

【問 5】あなたは、今後働きたいと思いますか。

- 1 今すぐにでも働きたい
- 2 いずれ働きたい
- 3 今後も働くつもりはない

《問 5 で 1、2 を選んだ方にお聞きします。》

→【問 5-1】今後働きたいと思う理由は何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

- 1 社会とのつながりがほしいから
- 2 自分の能力を活かしたいから
- 3 自分の自由になるお金がほしいから
- 4 働かないと家計が苦しいから
- 5 育児から離れる時間がほしいから
- 6 育児と仕事は両立できると思うから
- 7 自分が働くことについて、家族が理解し、協力してくれるから
- 8 仕事を持つのは当然のことだと思うから
- 9 その他 ()

→【問 5-2】どのような条件が満たされれば、働くことができると思いますか。次の中から当てはまるものを 3 つまで選んでください

- 1 子供をどこかに預けられたら
- 2 末子が幼稚園に入園したら
- 3 末子が小学校に入学したら
- 4 子育てに手がかからなくなったら
- 5 家族の理解が得られれば
- 6 短い時間でも働ける職場があれば
- 7 以前の勤務先に再雇用制度(※)が導入されれば
- 8 家に近い職場があれば
- 9 自分の能力を活かせる職場があれば
- 10 希望する労働条件であれば
- 11 その他 ()

※「再雇用制度」とは、育児、介護を理由に退職した労働者が再び雇用されることを希望する場合に優先的に採用することなどをいいます。

《問 5 で 3 を選んだ方にお聞きします。》

→【問 5-3】働くつもりがない理由は何ですか。次の中から最も大きい理由を 1 つ選んでください。

- 1 育児に専念したいから
- 2 働く必要がないから
- 3 育児と仕事の両立は難しいと思うから
- 4 家族の理解が得られないから
- 5 健康がすぐれないから
- 6 働きたくないから
- 7 その他 ()

育児休業制度について

《全員にお聞きします。》

【問 7】 あなたは、これまでに育児休業制度を利用したことがありますか。

- 1 ある
- 2 ない → 《問 7-4 へ》

《問 7 で 1 と答えた方にお聞きします。》

→ 【問 7-1】 実際に育児休業を取った期間はどれぐらいですか。次の中から当てはまるものを 1つ 選んでください。お子さんが複数いらっしゃる場合は、直近で育児休業をとった場合についてお答えください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 1 か月未満 | 5 8 か月以上 10 か月未満 |
| 2 1 か月以上 3 か月未満 | 6 10 か月以上 1 年未満 |
| 3 3 か月以上 6 か月未満 | 7 1 年以上 1 年 6 か月未満 |
| 4 6 か月以上 8 か月未満 | 8 1 年 6 か月以上 |

→ 【問 7-2】 育児休業の期間を自分で自由に決められるとしたら、どれだけの期間取りたいと思いますか。次の中から当てはまるものを 1つ 選んでください。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 1 か月未満 | 5 8 か月以上 10 か月未満 |
| 2 1 か月以上 3 か月未満 | 6 10 か月以上 1 年未満 |
| 3 3 か月以上 6 か月未満 | 7 1 年以上 1 年 6 か月未満 |
| 4 6 か月以上 8 か月未満 | 8 1 年 6 か月以上 |

《問 7-2 で 8 と答えた方にお聞きします。》

→ 【問 7-2-1】 具体的に、いつまで育児休業を取りたいと思いますか。次の中から当てはまるものを 1つ 選んでください。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 末子が 2 歳になるまで | 5 末子が小学校に入学するまで |
| 2 末子が 3 歳になるまで | 6 末子が小学校高学年になるまで |
| 3 末子が 4 歳になるまで | 7 末子が小学校を卒業するまで |
| 4 末子が 5 歳になるまで | 8 その他 () |

《問7-1と問7-2で選んだ番号が違う(現実と理想に差がある)方にお聞きします。》

▶【問7-3】育児休業を、実際に取得した期間と自分が取りたいと思う期間に差があるのほどうしてだと思いませんか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

- 1 制度上、自分の希望する期間まで育児休業が取れないから
- 2 上司の理解が得られないから
- 3 職場全体として、長期間の育児休業を取りづらい雰囲気だから
- 4 早く職場に復帰しないと家計が苦しいから
- 5 長く仕事から離れていると、仕事についていけなくなる気がしたから
- 6 配偶者の理解が得られないから
- 7 希望の時期に保育所に入所できない(できなかった)から
- 8 その他 ()

《問7で2(育児休業制度を利用したことがない)と答えた方にお聞きします。》

【問7-4】育児休業を利用しなかったのはなぜですか。次の中から最も大きい理由を1つ選んでください。

- 1 勤務先で制度が整っていない(いなかった)から
- 2 上司の理解が得られなかったから
- 3 職場全体として、取りづらい雰囲気だったから
- 4 自分が休むと家計が苦しくなるから
- 5 配偶者の理解が得られなかったから
- 6 育児休業制度を利用できることを知らなかったから
- 7 その当時、就労していなかったから
- 8 取る必要がなかったから
- 9 その他 ()

子供の看護休暇制度

《現在働いている方(1 ページの問 1 で 1 と答えた方)にお聞きします。》

(それ以外の方(問 1 で 2~5 と答えた方)は問 9 へお進みください。)

【問 8】あなたは、お子さんが病気、けがをしたとき、看護休暇制度を利用したことがありますか。

- 1 利用したことがある
- 2 利用したことがない

《問 8 で 2 を選んだ方にお聞きします。》

→【問 8-1】利用したことがないのはなぜですか。次の中から最も大きい理由を 1 つ選んでください。

- 1 勤務先に看護休暇制度がない(なかった)から
- 2 勤務先に看護休暇制度はあるが、要件を満たしていなかったから
- 3 看護休暇制度があることを知らなかったから
- 4 配偶者が看護休暇を取ったから
- 5 配偶者が有給休暇を取ったから
- 6 働いていない同居の家族がみてくれたから
- 7 同居以外の親族がみてくれたから
- 8 仕事の調整ができなかったから
- 9 別の制度(有給休暇等)を使って、仕事を休んだから
- 10 職場の上司の理解が得られなかったから
- 11 職場全体として、取得できる雰囲気ではなかったから
- 12 子供がまだ病気、けがをしていないから
- 13 その他()

※看護休暇・・・

小学校入学までの子を養育する労働者が、けがや病気をした子の看護のために取得できる休暇のことです。平成 21 年 6 月の育児・介護休業法改正により、子供が 1 人であれば年 5 日、2 人以上であれば年 10 日までの取得が可能となりました。また、パートタイムでの労働者も対象ですが、継続して雇用された期間が 6 か月に満たない方、週所定労働日数が 2 日以下の方などは、あらかじめ労使協定により対象外となる場合があります。

【問 10】あなたは、次のようなことにお感じになることがありますか。a から x までのそれぞれの項目について、当てはまるものを 1つずつ 選んでください。

	よくある	ときどき ある	ほとんど ない	全くない
a 子育てによって、地域とのつながりを感じることもある	1	2	3	4
b 子育てによって、自分が成長したと感じる	1	2	3	4
c 自分の子供は、結構うまく育っていると思う	1	2	3	4
d 子育てでイライラすることがある	1	2	3	4
e 子供を育てるために、我慢ばかりしていると思う	1	2	3	4
f 子供のことで、どうしたらよいかわからなくなる	1	2	3	4
g 子供の世話をするのが嫌になる	1	2	3	4
h 子供をたたきたくすることがある	1	2	3	4
i 育児や家事に追われる自分をかわいそうに思う	1	2	3	4
j 一人になりたいときがある	1	2	3	4
k 子育てによって、人間関係が広がったと思う	1	2	3	4
l 子育てによって、様々な経験ができたと思う	1	2	3	4
m 子育てによって、生活が充実していると感じる	1	2	3	4
n 配偶者が子育てに協力してくれないと思う	1	2	3	4
o 子育てに関して周りの理解がないと思う	1	2	3	4
p 子供の発育について心配になる	1	2	3	4
q 子供がいじめられたりしないか心配になる	1	2	3	4
r 子供の教育について心配になる	1	2	3	4
s 子供が将来うまく育ってくれるかどうか心配になる	1	2	3	4
t 子供がかわいく思えない	1	2	3	4
u 子供がいなければよかったと思う	1	2	3	4
v 子供の顔を見ると、気持ちが安らぐ	1	2	3	4
w 子供を育てるのは、楽しくて幸せなことだと思う	1	2	3	4
x 子供ができてよかったと思う	1	2	3	4

【問 11】あなたは、お子さんについての悩みや心配事について相談する、相談相手がありますか。

- 1 いる
- 2 いないので欲しい
- 3 必要ない

《問 11 で 1 を選んだ方にお聞きします。》

→【問 11-1】お子さんの悩みや心配事については、誰に相談していますか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1 配偶者 | 8 職場の人 |
| 2 自分や配偶者の親 | 9 隣近所の人 |
| 3 1・2 以外の家族や親族 | 10 病院の医師、看護師 |
| 4 保育所や幼稚園、学校等の先生 | 11 保健所・保健センターの保健師 |
| 5 塾や習いごとの先生 | 12 公的機関の相談員（※） |
| 6 友人 | 13 民間の相談窓口の相談員 |
| 7 子供の保育所や幼稚園、学校等を通じて親しくなった人 | 14 インターネット（掲示板等） |
| | 15 その他（ ） |

※ 公的機関の相談員…子供家庭支援センターや児童相談所、教育相談センター等の相談員を指します。

→《問 11 で 2 を選んだ方にお聞きします。》

【問 11-2】お子さんの悩みや心配事について誰に相談したいですか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| 1 配偶者 | 8 職場の人 |
| 2 自分や配偶者の親 | 9 隣近所の人 |
| 3 1・2 以外の家族や親族 | 10 病院の医師、看護師 |
| 4 保育所や幼稚園、学校等の先生 | 11 保健所・保健センターの保健師 |
| 5 塾や習いごとの先生 | 12 公的機関の相談員 |
| 6 友人 | 13 民間の相談窓口の相談員 |
| 7 子供の保育所や幼稚園、学校等を通じて親しくなった人 | 14 インターネット（掲示板等） |
| | 15 その他（ ） |

地域における子育て

《全員にお聞きします。》

【問 12】 あなたが子育てしていく上で、又はこれまで子育てしてきた経験から、整備してほしいものは何ですか。次の中から 3つまで 選んでください。

- 1 駅や劇場などの民間施設の授乳コーナーやベビールーム
- 2 子供連れでも楽に利用でき、オムツ替えの場所がある公衆トイレ
- 3 段差のない歩道や駅などのバリアフリー
- 4 子供が泣いても周囲の目を気にすることなく利用できる電車車両
- 5 両親が参加できる子育て学級
- 6 夜間・休日を問わず、気軽に相談できる場所
- 7 就学後の子供を、放課後や夏休みなどの長期休暇中に預かってくれるところ
- 8 子供が安全に遊ぶことができる公園
- 9 中高生向けの児童館
- 10 その他 ()
- 11 特になし

【問 13】 あなたの住んでいる地域は、安心して子育てできる地域だと思いますか。

次の中から 1つ 選んでください。

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 あまりそう思わない
- 4 全くそう思わない
- 5 わからない

《問 13 で 3、4 を選んだ方にお聞きします。》

→【問 13-1】 あなたの住んでいる地域で、安心して子育てができない理由は何ですか。次の中から当てはまるものを 全て 選んでください。

- 1 公園など安全に遊べる場所が少ない
- 2 同じ年頃の子供が近所に少ない
- 3 子育てに関して、近隣の理解が得にくい
- 4 親族が近所にいない
- 5 子育ての話ができる友人が近所に少ない
- 6 親子で交流できる場所や施設が身近にない
- 7 公共の施設が子供や親にとって利用しにくい
- 8 保育所や学童クラブに入れにくい（満員等の理由のため）
- 9 教育環境が良くない
- 10 交通量が多く危険
- 11 犯罪が多く危険
- 12 騒音・悪臭・空気の汚れなどがひどい
- 13 近所に教育上好ましくない施設がある
- 14 その他（ ）

《全員にお聞きします。》

【問 14】 地域などの子育てのための活動などのうち、過去 1 年間にあなたが参加したことがあるもの、また、今後参加したいと思うものはどれですか。次の中から、当てはまるものを 全て 選んでください。

過去 1 年間に参加したことがあるもの	今後、参加したいと思うもの
1 親子が共に参加できる活動やプログラム	1 親子が共に参加できる活動やプログラム
2 親同士の交流の機会やグループ活動 (母親クラブなど)	2 親同士の交流の機会やグループ活動 (母親クラブなど)
3 子供を保育しあったりするグループ活動	3 子供を保育しあったりするグループ活動
4 その他（ ）	4 その他（ ）
5 参加したものはなし	5 参加したいものはなし

《全員にお聞きます。》

【問 15】 児童虐待を防ぐ社会的な働きかけの中で、大切なことは何だと思えますか。次の中から 2つまで 選んでください。

- 1 身近な地域で子供や家族を見守る仕組みをつくる
- 2 子育て支援サービスなどを充実する
- 3 児童の養育者などへの相談・支援を充実する
- 4 子育ての不安やストレスを解消するための相談や交流の場などを整備する
- 5 虐待されていると思われる子供を発見した人は通告する義務があることを PR する
- 6 虐待されている子供が相談できる電話や窓口があることを PR する
- 7 児童相談所や子供家庭支援センターなどの相談機関の機能を充実する
- 8 緊急の受入体制を充実する
- 9 その他（具体的に： _____)

家族のコミュニケーション

《全員にお聞きします。》

【問 16】子供と一緒に過ごす時間（寝ている時間は含めない。）は1日どれくらいですか。平日、休日それぞれについて、次の中から当てはまるものを1つずつ選んでください。

平日	休日
1 30分未満	1 30分未満
2 30分～1時間未満	2 30分～1時間未満
3 1～2時間未満	3 1～2時間未満
4 2～3時間未満	4 2～3時間未満
5 3～4時間未満	5 3～4時間未満
6 4～5時間未満	6 4～5時間未満
7 5時間以上	7 5時間以上
8 ほとんどない	8 ほとんどない

※ひとり親の方は、問 21(20 ページ)へお進みください。

【次ページ以降も続きます】

※ひとり親の方は、問 21(20 ページ)へお進みください。

※ひとり親の方は、問 21(20 ページ)へお進みください。

《配偶者がいる方にお聞きます。》

【問 17】御夫婦のコミュニケーションについてお聞きます。次の a から h までのそれぞれの項目について、当てはまるものを 1つずつ 選んでください。

	よくある	ときどきある	ほとんどない	全くない
a 夕食を一緒にとる	1	2	3	4
b 買い物に一緒に行く	1	2	3	4
c 趣味について話し合う	1	2	3	4
d 旅行に出かける	1	2	3	4
e 帰宅時間や週の予定について話す	1	2	3	4
f その日にあったことについて話し合う	1	2	3	4
g 休日の過ごし方について話し合う	1	2	3	4
h 心配事や悩み事を相談する	1	2	3	4

【問 18】御夫婦の 1 日の会話時間はどれぐらいですか。平日、休日それぞれについて、次の中から当てはまるものを 1つずつ 選んでください。

平日	休日
1 30分未満	1 30分未満
2 30分～1時間未満	2 30分～1時間未満
3 1～2時間未満	3 1～2時間未満
4 2～3時間未満	4 2～3時間未満
5 3～4時間未満	5 3～4時間未満
6 4～5時間未満	6 4～5時間未満
7 5時間以上	7 5時間以上
8 ほとんどない	8 ほとんどない

夫婦の家事・育児分担

《配偶者がいる方にお聞きします。》

【問 19】あなたの家庭では、次に挙げた家事・育児は、主として誰が行っていますか（いましたか）。次の a から n までのそれぞれの項目について、当てはまるものを 1つずつ 選んでください。

	ほとんど妻	妻が主で夫が従	夫と妻で同程度	夫が主で妻が従	ほとんど夫	妻・夫以外の人
a 食事を作る	1	2	3	4	5	6
b 食後の片付け	1	2	3	4	5	6
c 部屋の掃除	1	2	3	4	5	6
d トイレの掃除	1	2	3	4	5	6
e 風呂の掃除	1	2	3	4	5	6
f 食品や日用品の購入	1	2	3	4	5	6
g 洗濯物をたたむ	1	2	3	4	5	6
h ごみを出す	1	2	3	4	5	6
i 子供の遊び相手をする	1	2	3	4	5	6

《j~nについては、該当する場合にお答えください。（過去の経験も含めます。）》

j 子供のおむつの取替え	1	2	3	4	5	6
k 子供を風呂に入れる	1	2	3	4	5	6
l 保育所、幼稚園等の送迎	1	2	3	4	5	6
m 保育所・幼稚園・学校の行事等への参加	1	2	3	4	5	6
n 子供の勉強をみる	1	2	3	4	5	6

【問 20】 あなたの家庭の現在の家事、育児分担割合は、あなたと配偶者でどうなっていると思いますか。また、本当はどれぐらいの分担割合にしたいと思いますか。下記の記入例のように、現実と理想それぞれについて 1つずつ ○をつけてください。

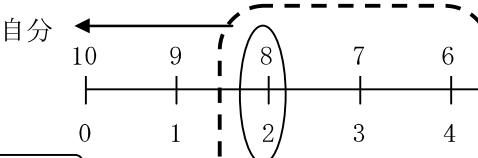
記入例

【例 1】 **現実** 自分 8、配偶者 2 / **理想** 自分 6、配偶者 4 の場合

【例 2】 **現実** 自分 3、配偶者 7 / **理想** 自分 5、配偶者 5 の場合

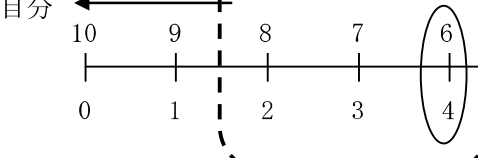
【例 3】 **現実** 自分 2、配偶者 8 / **理想** 自分 2、配偶者 8 の場合

現実



自分 ← 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 → 配偶者

理想



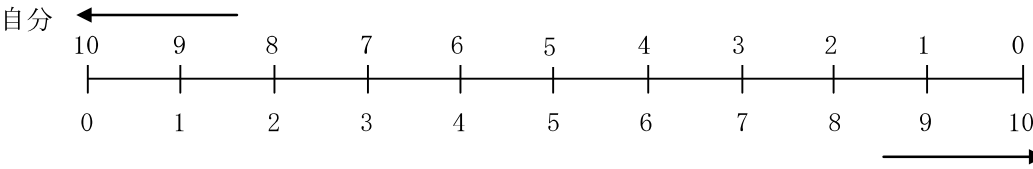
自分 ← 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 → 配偶者

(理想が現実より 右側にある場合) (理想が現実より 左側にある場合) (理想が現実と一致している場合)

↓ ↓ ↓

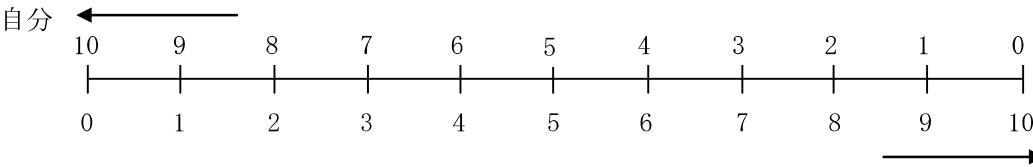
【問 20-1】へ **【問 20-2】へ** **【問 21】へ**

現実



自分 ← 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 → 配偶者

理想



自分 ← 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 → 配偶者

《配偶者にもっと家事・育児をやってほしいと思っている方(問 20 で、理想の方の○が現実よりも右側にある方)にお聞きします。》

【問 20-1】どのようにすれば、もっと配偶者に家事・育児をやってもらえと思いますか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 配偶者の勤務時間が短縮できれば | 6 配偶者自身の意識が変われば |
| 2 配偶者の職場が自宅から近くなれば | 7 自分の収入が増えれば |
| 3 配偶者が育児休業等を取得できれば | 8 自分が仕事に就いたら |
| 4 配偶者以外の親族の理解が得られれば | 9 その他 () |
| 5 配偶者の家事能力が向上すれば | |

《自分がもっと家事・育児をやりたいと思っている方(問 20 で、理想の方の○が現実よりも左側にある方)にお聞きします。》

【問 20-2】どのようにすれば、もっと自分が家事・育児をできると思いますか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 自分の勤務時間が短縮できれば | 5 自分の家事能力が向上すれば |
| 2 自分の職場が自宅から近くなれば | 6 配偶者の収入が増えれば |
| 3 自分が育児休業等を取得できれば | 7 配偶者が仕事に就いたら |
| 4 配偶者以外の親族の理解が得られれば | 8 その他 () |

東京の子供・子育て支援について

《全員にお聞きします。》

【問 21】東京都は、安心して子供を産み育て、子育てができる社会を目指し、様々な施策に取り組んでいます。あなたは、次に掲げる東京都の施策が充実していると思いますか。aからoまでの施策について、当てはまるものを1つずつ選んでください。(施策ごとの主な取組内容については、右のページを御覧ください。)

	そう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	そう思わない	わからない
a 子育て家庭を地域で支える仕組みとサービスの充実	1	2	3	4	5
b 小児・母子医療体制の整備	1	2	3	4	5
c 家庭生活との調和が取れた職場づくりの推進	1	2	3	4	5
d 待機児童対策・保育サービスの拡充	1	2	3	4	5
e ライフスタイルや就業形態の多様化に応じた様々な保育サービスの提供	1	2	3	4	5
f 保育サービスの質の向上	1	2	3	4	5
g 子供の生きる力（「確かな学力」・「豊かな人間性」・「健康と体力」）をはぐくむ環境の整備	1	2	3	4	5
h 若者の社会的自立の促進	1	2	3	4	5
i 児童虐待防止対策の推進	1	2	3	4	5
j 社会的養護を必要とする子供（虐待など様々な理由から親と暮らすことのできない子供）への取組	1	2	3	4	5
k ひとり親家庭の自立支援	1	2	3	4	5
l 障害児施策の充実	1	2	3	4	5
m 子供をインターネット等の有害な情報や薬物・非行・犯罪等から守る取組	1	2	3	4	5
n 親子が安心して生活できる良質な居住環境や外出環境の整備	1	2	3	4	5
o 安全・安心の子育て環境づくり（災害時の支援や防災対策など）	1	2	3	4	5

◆施策の主な取組内容◆

<p>a 子育て家庭を地域で支える仕組みとサービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> * 子供家庭支援センターや子育てひろばでの相談支援 * 一時預かり、ファミリー・サポート・センターなど子育て支援サービスの充実
<p>b 小児・母子医療体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> * 休日・夜間における小児診療体制の整備 * NICU（新生児集中治療室）の増床など周産期医療の整備 * こども救命センターの創設
<p>c 家庭生活との調和が取れた職場づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> * 両立支援の取組への支援（育児休業等の取得促進や復職支援） * ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた普及啓発・気運醸成
<p>d 待機児童対策・保育サービスの拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> * 認可保育所・認証保育所などの整備 * 家庭的保育の拡充
<p>e ライフスタイルや就業形態の多様化に応じた様々な保育サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> * パートタイム労働者向けの保育サービス * 休日保育、夜間保育、延長保育、病児・病後児保育 * 学童クラブ
<p>f 保育サービスの質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> * 保育施設職員への研修 * 保育人材の確保・育成
<p>g 子供の生きる力（「確かな学力」・「豊かな人間性」・「健康と体力」）をはぐくむ環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> * 授業改善・習熟度別指導など学校教育の質の向上 * 芸術・文化活動、奉仕活動等 * 子供の基礎体力向上
<p>h 若者の社会的自立の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> * 中学生の職場体験 * 若年者の雇用就業支援 * ひきこもり等の防止・社会参加支援
<p>i 児童虐待防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> * 学校、子供家庭支援センター、児童相談所等の連携による児童虐待の未然防止、早期対応等
<p>j 社会的養護を必要とする子供（虐待など様々な理由から親と暮らすことのできない子供）への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> * 養育家庭やグループホームの設置促進など家庭的養護の推進 * 専門的・個別的ケアなど施設機能の強化
<p>k ひとり親家庭の自立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> * ひとり親家庭の就業に関する個別支援 * 在宅就業を行うための研修や相談支援
<p>l 障害児施策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> * 福祉・保健・医療の連携による在宅生活の支援 * 特別支援学校における教育の充実、就労支援
<p>m 子供をインターネット等の有害な情報や薬物・非行・犯罪等から守る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> * 家庭におけるインターネット利用のルールづくりの支援 * 「子ども110番の家」など地域における子供見守り活動の支援
<p>n 親子が安心して生活できる良質な居住環境や外出環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> * 子育て世帯向けの住宅の整備 * 安心して自由な子供の遊び場の整備 * 授乳やおむつ替えなどができる「赤ちゃん・ふらっと」の整備
<p>o 安全・安心の子育て環境づくり（災害時の支援や防災対策など）</p> <ul style="list-style-type: none"> * 災害用物資の備蓄や施設の耐震化

施策の内容について詳しくお知りになりたい方は、下記アドレスを御参照ください。

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kodomo/katei/koukikeikaku/keikaku/index.html>

東京都の福祉保健行政に関して御意見や御要望がありましたら、お聞かせください。

- ◆ 長時間にわたり御協力いただきまして、ありがとうございました。
- ◆ この調査の結果は、まとめ次第公表し、東京都の福祉・保健・医療施策の重要な基礎資料とします。

調査担当

東京都 福祉保健局 総務部 総務課
統計調査係（福祉保健基礎調査担当）
電話 03-5321-1111（代表）
内線32-017、32-018